

【第2次尼崎市男女共同参画計画】 実施状況調査(25年度)

事業概要(PLAN)	
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し
方針	1 学校等における男女共同参画の推進 重点方針 ○
施策の方向	1 教職員等の意識と指導力の向上
NO	2111
事業名	教職員研修の充実
事業内容	学校教育において、男女共生教育を推進するため、教職員(幼・小・中・養・高)に対する研修の充実を図る。(管理職研修、人権教育研修講座等)

25年度に向けた方向性(PLAN)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き1年目教員を対象に研修を実施し、教職員の意識改革を行う。 学校現場で男女混合名簿が実施されていることを踏まえ、それらを関連させて研修を充実していく。 24年度に特別臨時研修で行ったハラスメント対応研修は引き続き25年度にも実施する。
-------------------	--

【参考】関連する事務事業評価の事業
事務事業名 教育総合センター研修事業 (教職員研修事業)

【参考】関連する計画
計画名 教育総合センター研修事業 (教職員研修事業)

実施内容(25年度)(DO)	
実施内容(25年度)	教育総合センター 人権教育研修講座 (1) 日時・「テーマ」・参加人数 ① 平成25年8月27日・「これからめざす人権教育」・195名 ② 平成25年8月28日・「いのちの教育」・210名 ③ 平成25年8月29日・「人権教育を通して推進する人間形成」・202名 (2) 講師 佛教大学 教職員支援センター講師 西田益久氏 (3) 対象 全教員
過去の実施内容(24年度)	教育総合センター 人権教育研修講座 (1) 日時・「テーマ」・参加人数・講師 ① 平成24年8月3日・「ダイバーシティ～多様性を尊重する社会のために～」・193名 ・エンパワメント・センター 代表 森田ゆり氏 ② 平成24年8月28日・「人権文化の息づくまちをめざして」・208名 ・市民協働局人権課 課長 氏丸善行氏 ③ 平成24年8月31日・「これからの人権がめざすもの」・210名 ・NPO法人SEAN 事務局長 遠矢家永子氏 (2) 対象 全教員

評価1(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか	
男女共同参画の視点	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 <input type="checkbox"/> 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)

評価2(CHECK) 数値目標									
目標項目	教職員研修の実施回数								
目標・実績	<table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <th>年1回</th> <th>達成年度</th> <th>28年度</th> <th>25年度</th> <th>3回</th> <th>24年度</th> <th>3回</th> </tr> </table>	目標値	年1回	達成年度	28年度	25年度	3回	24年度	3回
目標値	年1回	達成年度	28年度	25年度	3回	24年度	3回		
実績の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った								

評価3(CHECK) 男女共同参画審議会による指摘	
指摘内容	
男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について	
対応等	

今後の方向性(ACTION)	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 1年目教員を対象とした研修を実施し、教職員の意識改革を行う。 学校現場では、男女混合名簿が実施されていることをふまえ、それらも関連させて研修を実施していく。 管理職研修におけるハラスメント対応研修は、26年度においても実施する。 差別問題が多様化してきているので、多岐にわたる人権研修を今後の展開としていく。

【第2次尼崎市男女共同参画計画】 実施状況調査(25年度)

局	こども青少年局	課	保育指導担当
---	---------	---	--------

事業概要(PLAN)	
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し
方針	1 学校等における男女共同参画の推進 重点方針 ○
施策の方向	1 教職員等の意識と指導力の向上
NO	2112 【拡充】
事業名	保育士研修の実施
事業内容	保育士の専門性向上のひとつとして人権・男女共同参画に関連する研修を実施する。

25年度に向けた方向性(PLAN)	継続的に研修を実施していく。
-------------------	----------------

【参考】関連する事務事業評価の事業
事務事業名

【参考】関連する計画
計画名

実施内容(25年度)(DO)	
実施内容(25年度)	<p>(公立) 専門研修－26回：1,180人 保育所別職場研修－48回：395人(保育所数25所) ※職場研修のうち、人権・男女共同参画にかかる研修</p> <p>派遣研修－6回：18人 (私立) 私立保育所に対しては、公立の主催する専門研修及び県や団体等が実施する研修等の情報を提供した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 職場研修内容【主なもの】 ・人権を大切にする保育 ・職員のよりよい関係のために ・保護者の人権について ・要保護児童について ・CAPワークショップ </div>
過去の実施内容(24年度)	<p>(公立) 集合研修－25回：1,004人 保育所別職場研修－59回：441人(保育所数26所) ※職場研修のうち、人権・男女共同参画にかかる研修</p> <p>派遣研修－4回：11人 (私立) 私立保育所に対しては、県や団体等が実施する研修等の情報を提供した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 職場研修内容【主なもの】 ・平和についての取組み ・虐待について ・子どもの人権を大切にする保育 ・人権を大切にされた保護者対応 ・DVについて </div>

評価1(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか	
男女共同参画の視点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 ■ 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 ■ 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。(その他の特記事項)

評価2(CHECK) 数値目標						
目標項目						
目標・実績	目標値	達成年度	年度	25年度	24年度	
実績の評価	<input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った					

評価3(CHECK) 男女共同参画審議会による指摘	
指摘内容	
男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について	
対応等	

今後の方向性(ACTION)	
今後の方向性	継続的に研修を実施していく。

【No.2112 保育士研修の実施】 別紙

保育所別職場研修実施内容（公立保育所における人権研修）

- *各保育所で講師招聘による研修や保育所職員による研修を職場別研修として行っており、その中でも人権・男女共同参画にかかる研修の回数を挙げている。
- *保育所職場別研修では、人権研修を必修研修としており研修計画のなかに入れているが、年度ごとに主に学ぶテーマが変わるため、カテゴリーの割合も変化しており、実施回数が増減がある。
- *平成24年度の実施回数より平成25年度の回数が減少している理由としては、平成25年4月に尼崎市に保育所の最低基準を定める条例が施行され、研修の計画的な実施や事故の発生防止の指針を定めることが求められたため、保育所職場別研修のなかでも条例の内容や事故発生防止指針についての研修等を入れたことによるものである。

【回数】

年度	保育所数	回数	人数
24	26所	59回	441人
25	25所	48回	395人

【内容（主なもの）】

平成24年度

- ・ 平和についての取り組み（伝達研修・討議）
- ・ 虐待について（伝達研修及び討議）
- ・ 子どもの人権を大切にする保育について（討議）
- ・ 人権を大切にされた保護者対応について（討議）
- ・ DVについて（講義）

平成25年度

- ・ 人権を大切にする保育（グループワーク）
- ・ 職員のよりよい関係作りのために（グループワーク）
- ・ 保護者の人権について（討議）
- ・ 要保護児童について（伝達研修）
- ・ CAPワークショップ（実技）

【第2次尼崎市男女共同参画計画】 実施状況調査(25年度)

局	教育委員会事務局	課	学校教育課
---	----------	---	-------

事業概要(PLAN)	
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し
方針	1 学校等における男女共同参画の推進 重点方針 ○
施策の方向	2 学校教育における慣行の是正
NO	2121
事業名	男女共生教育の推進
事業内容	・全教育活動の中で、男女の固定的な役割分担を前提とせず、人権の尊重・男女の協力・相互理解等の指導の充実に努めるとともに、男女が性別にかかわらず、互いにその個性を尊重しつつ、等しく責任を分かち合い、それぞれの能力を十分に発揮することができるような教育を推進する。・男女混合名簿を完全実施する。

25年度に向けた方向性(PLAN)	新たな資料の発掘を含めて現状の取組についてさらに充実させ、男女共生の視点に立った取組を推進する。
-------------------	--

【参考】関連する事務事業評価の事業
事務事業名 ところの教育推進事業 B27L

【参考】関連する計画
計画名

実施内容(25年度)(DO)	
実施内容(25年度)	・県教委作成の「男女共同参画社会をめざす学校教育の実践に向けて」や、人権教育資料「ほほえみ(小学校用)」「きらめき(中学校用)」を道徳等で活用し、男女共生教育の推進に努めた。 ○「ほほえみ」の活用状況：1・2年69.7%、3・4年60.4%、5・6年57.5%(市内43小学校平均) ○「きらめき」の活用状況：63.1%(市内19中学校平均)
過去の実施内容(24年度)	・県教委作成の「男女共同参画社会をめざす学校教育の実践に向けて」や、人権教育資料「ほほえみ(小学校用)」「きらめき(中学校用)」を道徳等で活用し、男女共生教育の推進に努めた。 ○「ほほえみ」の活用状況：1・2年69.2%、3・4年59.3%、5・6年57.0%(市内43小学校平均) ○「きらめき」の活用状況：60.5%(市内19中学校平均)

評価1(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか	
男女共同参画の視点	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 <input type="checkbox"/> 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)

評価2(CHECK) 数値目標																	
目標項目	①教職員が学習、研修を年1回以上実施した校数の割合 ②男女共生教育を推進するための授業を全クラスで年間に実施した校数の割合																
目標・実績	<table border="1"> <tr> <td>目標値</td> <td>①100%</td> <td>達成年度</td> <td>28年度</td> <td>25年度</td> <td>①14.5%</td> <td>24年度</td> <td>①14.7%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>②100%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>②100%</td> <td></td> <td>②100%</td> </tr> </table>	目標値	①100%	達成年度	28年度	25年度	①14.5%	24年度	①14.7%		②100%				②100%		②100%
目標値	①100%	達成年度	28年度	25年度	①14.5%	24年度	①14.7%										
	②100%				②100%		②100%										
実績の評価	<input type="checkbox"/> 達成している <input checked="" type="checkbox"/> 下回った																

評価3(CHECK) 男女共同参画審議会による指摘	
指摘内容	①「男女共生教育の推進」について、具体的な取組を明記し、踏み込んだ活動を実施するよう検討された。 ②「男女共生教育の推進」について、男女混合名簿(性別で分けない名簿)の使用状況を、完全実施したという報告と実態の間で乖離がないか調査し、乖離があれば是正されたい。
男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について	
対応等	①平成26年度より、ところの教育推進事業を小学校にも導入しており、平成25年度に中学校において実施した男女共生や性に関するテーマや講師の情報を提供した。 ②男女混合名簿の使用状況では、体育等の評価に使う教員の資料等を除き混合名簿が使用されており、年度当初の小・中学校校長会では、男女混合名簿の実施について、周知徹底している。

今後の方向性(ACTION)	
今後の方向性	小学校にも拡充されたところの教育推進事業において、男女共生の視点に立った講演を他校にも紹介するなど、男女の相互理解が深まるようにする。

【第2次尼崎市男女共同参画計画】 実施状況調査(25年度)

事業概要(PLAN)	
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し
方針	1 学校等における男女共同参画の推進 重点方針 <input type="radio"/>
施策の方向	2 学校教育における慣行の是正
NO	2122 【拡充】
事業名	女子生徒の理工系分野への進学支援を含む進路指導の充実
事業内容	男女が個人として、能力・適性、興味・関心に応じて、性別にとらわれずに主体的に進路選択ができるよう進路指導の充実を図る。また、女子生徒が自らの興味・関心によって理工系分野への進学を希望している場合、この生徒の希望を支援し、女性だからという理由で進路の変更を強要されることのないよう相談支援、学習支援等に努める。

25年度に向けた方向性(PLAN)	引き続き、男女に関わらず多様な進路情報を提供するとともに、主体的に進路選択ができるよう環境づくりに努める。また、個に応じた相談に対応できるようにする。
-------------------	---

【参考】関連する事務事業評価の事業	
事務事業名	

【参考】関連する計画	
計画名	

実施内容(25年度)(DO)	
実施内容(25年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校では、市内全19校の3年生に「進路指導ノート」を配布し、生徒が自らの能力や適性に応じて、主体的に多様な進路選択ができるように、男女に関わらず生徒の思いを大切にされた進路指導に努めた。 ・高等学校では、生徒が自らの興味や関心、適性等に応じて進路選択ができるように、進路指導担当教員を中心に個別具体的な進路相談による進路指導の中で、インターネット等を活用し進路情報を収集し、生徒に提供した。
過去の実施内容(24年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校では、市内全19校の3年生に「進路指導ノート」を配布し、生徒が自らの能力や適性に応じて、主体的に多様な進路選択ができるように、男女に関わらず生徒の思いを大切にされた進路指導に努めた。 ・高等学校では、生徒が自らの興味や関心、適性等に応じて進路選択ができるように、インターネット等を活用し進路情報を収集し、生徒に提供した。また、個別具体的な進路相談による進路指導の充実にも努めた。

評価1(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか	
男女共同参画の視点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 ■ 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 □ 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)

評価2(CHECK) 数値目標						
目標項目						
目標・実績	目標値	達成年度	年度	25年度	24年度	
実績の評価	<input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った					

評価3(CHECK) 男女共同参画審議会による指摘	
指摘内容	「女子生徒の理工系分野への進学支援を含む進路指導の充実」について、個別指導だけではなく、志を高めるよう積極的に取り組まれない。
男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について	
対応等	進路指導については、保護者や女子生徒と学校が本人の希望や適正、学業の成績等を参考に話し合うことになっている。その中で、成績や適正から理系進学に向いていると思われる場合については、話題を提供し、進路の選択についての幅を広げている。 高校生については、高校に入ってから、文・理を分けるタイミングがあるが、その中で理系についての希望や適正、学業の成績を参考に進路相談の中で選択肢を広げている状況である。特に看護医療系の進路については、希望も多くその進路の情報の提供に努めている状況である。

今後の方向性(ACTION)	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校では、市内全19校の1～3年生に「進路指導ノート」を配布し、生徒が自らの能力や適性に応じて、主体的に多様な進路選択ができるように、男女に関わらず生徒の思いを大切にされた進路指導に努める。 ・高等学校では、生徒が自らの興味や関心、適性等に応じて進路選択ができるように、進路指導担当教員を中心に個別具体的な進路相談による進路指導の中で、インターネット等を活用し進路情報を収集し、生徒に提供する。

【第2次尼崎市男女共同参画計画】 実施状況調査(25年度)

局	教育委員会	課	教育総合センター
---	-------	---	----------

事業概要(PLAN)	
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し
方針	1 学校等における男女共同参画の推進 重点方針 ○
施策の方向	2 学校教育における慣行の是正
NO	2123
事業名	男女共同参画の視点に立った情報教育の推進
事業内容	インターネットをはじめ、様々なメディアの情報を男女共同参画の視点から主体的に読み解き、活用する能力を育成する。

25年度に向けた方向性(PLAN)	教職員を対象に研修を実施し、児童生徒が、自ら正しい情報モラルや、男女共同参画社会の実現に寄与する資質を身につけられるような研修を実施する。
-------------------	---

【参考】関連する事務事業評価の事業
事務事業名 教職員研修事業

【参考】関連する計画
計画名

実施内容(25年度)(DO)	
実施内容(25年度)	<p>情報モラル・セキュリティ研修講座(平成25年7月26日) 演習 「取り組もう情報モラルの指導 高めよう情報セキュリティ」 講師 指導主事 大森 康充</p> <p>特別臨時研修(平成26年1月26日) 講演 「スマートフォン(ライン等)を介したサイバー犯罪について」 講師 兵庫県警察本部生活案全部サイバー犯罪対策課</p> <p>以上の研修を実施した。</p>
過去の実施内容(24年度)	<p>情報モラル・セキュリティ入門研修講座(平成24年8月31日) 演習 「学校における情報モラルとセキュリティ」 講師 指導員 大森 康充</p>

評価1(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか	
男女共同参画の視点	<p>■ 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 <input type="checkbox"/> 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)</p>

評価2(CHECK) 数値目標						
目標項目						
目標・実績	目標値	達成年度	年度	25年度	24年度	
実績の評価	<input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った					

評価3(CHECK) 男女共同参画審議会による指摘	
指摘内容	
男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について	
対応等	

今後の方向性(ACTION)	
今後の方向性	教職員を対象に研修を実施し、児童生徒が、自ら正しい情報モラルや、男女共同参画社会の実現に寄与する資質を身につけられるような研修を実施する。

【第2次尼崎市男女共同参画計画】 実施状況調査(25年度)

事業概要(PLAN)	
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し
方針	1 学校等における男女共同参画の推進 重点方針 ○
施策の方向	3 地域や家庭との連携強化
NO	2131
事業名	地域や家庭に対する啓発活動の充実
事業内容	市の教育啓発誌などを利用して啓発活動を推進する。

25年度に向けた方向性(PLAN)	・学校からの通信だけでなく、校内掲示板等を利用したり、学級懇談会等様々な機会を捉えて、人権課題・男女共生の課題等を啓発していく。
-------------------	--

【参考】関連する事務事業評価の事業
事務事業名

【参考】関連する計画
計画名

実施内容(25年度)(DO)	
実施内容(25年度)	・人権週間などに人権啓発につながる題材を「学校だより」「学年だより」「人権通信」等に掲載し、保護者や地域に配布する等、啓発活動を行った。
過去の実施内容(24年度)	・人権週間などに人権啓発につながる題材を「学校だより」「学年だより」「人権通信」等に掲載し、保護者や地域に配布する等、啓発活動を行った。

評価1(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか	
男女共同参画の視点	<input type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 <input type="checkbox"/> 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)

評価2(CHECK) 数値目標						
目標項目						
目標・実績	目標値		達成年度	年度	25年度	24年度
実績の評価	<input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った					

評価3(CHECK) 男女共同参画審議会による指摘	
指摘内容	
男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について	
対応等	

今後の方向性(ACTION)	
今後の方向性	・人権週間などに人権啓発につながる題材を「学校だより」「学年だより」「人権通信」等に掲載し、保護者や地域に配布する等、啓発活動を行う。

【第2次尼崎市男女共同参画計画】 実施状況調査(25年度)

局	企画財政局 市民協働局	課	魅力発信・報道担当 協働・男女参画課
---	----------------	---	-----------------------

事業概要(PLAN)	
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し
方針	2 社会における男女共同参画の推進 重点方針 ○
施策の方向	1 男女共同参画に関する広報啓発の充実
NO	2211
事業名	市報、市政TV、FM放送による広報、啓発
事業内容	市報あまがさきをはじめ、あらゆる広報媒体を活用し、男女共同参画に対する理解を深める啓発を行う。

25年度に向けた方向性(PLAN)	従前通り継続していく。
-------------------	-------------

【参考】関連する事務事業評価の事業
事務事業名 市報あまがさき発行事業/コミュニティFM放送事業 121A/123K

【参考】関連する計画
計画名 -

実施内容(25年度)(DO)	
実施内容(25年度)	<ul style="list-style-type: none"> 市報掲載回数 21回 女性センター事業等を掲載。 FM放送回数20回 女性センター事業を案内。
過去の実施内容(24年度)	<ul style="list-style-type: none"> 市報掲載回数43回 女性センター事業等を掲載。 FM放送回数3回 女性センター事業を案内。

評価1(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか	
男女共同参画の視点	<input type="checkbox"/> 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 <input type="checkbox"/> 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 <input checked="" type="checkbox"/> 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)

評価2(CHECK) 数値目標						
目標項目						
目標・実績	目標値		達成年度	年度	25年度	24年度
実績の評価	<input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った					

評価3(CHECK) 男女共同参画審議会による指摘	
指摘内容	
男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について	
対応等	

今後の方向性(ACTION)	
今後の方向性	従前通り継続していく。

【第2次尼崎市男女共同参画計画】 実施状況調査(25年度)

局	市民協働局	課	協働・男女参画課
---	-------	---	----------

事業概要(PLAN)	
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し
方針	2 社会における男女共同参画の推進 重点方針 ○
施策の方向	1 男女共同参画に関する広報啓発の充実
NO	2212 【拡充】
事業名	男女共同参画情報誌の発行・ホームページの充実
事業内容	情報誌「フェミナル」を作成・配布するとともに、ホームページを充実させることにより、女性センター事業や男女共同参画に関する施策の情報提供、法令等・制度の周知を行う。

25年度に向けた方向性(PLAN)	・ホームページの更新を継続し、充実に努める。 ・新たに就労支援ページを設置する準備を進める。『フェミナル』については、紙を媒体とした情報誌としての特性を活かした情報提供ができるように、特集の組み方などを工夫していく。
-------------------	---

【参考】関連する事務事業評価の事業	
事務事業名	

【参考】関連する計画	
計画名	

実施内容(25年度)(DO)	
実施内容(25年度)	<p>【情報誌】</p> <p>○男女共同参画情報誌『フェミナル』を発行。 市内公共施設、全国女性センター、市内小中高校、幼稚園等に配布し、ホームページにも掲載。 年2回発行 各4,000部</p> <p>テーマを掘り下げ、読み物として面白い紙面構成を追究している。 52号「センター40周年のあゆみ」 53号「起業しよう！～社会起業の視点を持って～」 市民協働の形として編集サポーターの協力を得て、企画や取材を行った。</p> <p>○来館者向け館内広報紙『トピック@トレビエ』を発行。毎月1日発行 各500部</p> <p>【メールマガジン】毎月1日発行 ※発信先は158か所となった。 【ホームページ】新たに就労支援ページを設置した。講座情報、スタッフブログ、新着図書情報、カフェブログなどほぼ毎日更新。担当課のページにリンクする形でフェイスブックの利用を開始した。</p>
過去の実施内容(24年度)	<p>【情報誌】</p> <p>○男女共同参画情報誌『フェミナル』を発行。 市内公共施設、全国女性センター、市内小中高校、幼稚園等に配布し、ホームページにも掲載。 年2回発行 各4,000部</p> <p>テーマを掘り下げ、読み物として面白い紙面構成を追究している。 50号「女性の防災 ジェンダーの視点で防災を考える」 51号「母との関係を考える」 市民協働の形として編集サポーター2名の協力を得て、企画や取材を行った。</p> <p>○来館者向け館内広報紙『トピック@トレビエ』を発行。毎月1日発行 各500部</p> <p>【メールマガジン】毎月1日発行 ※発信先は、23年度より42か所増加し、129か所となった。 【ホームページ】講座募集時、終了時、スタッフブログ、新着図書、カフェブログなどほぼ毎日更新</p>

評価1(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか	
男女共同参画の視点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 ■ 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 ■ 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。(その他の特記事項)

評価2(CHECK) 数値目標																	
目標項目	①女性センターのホームページのアクセス回数 ②女性センターの多様な情報サービスの提供																
目標・実績	<table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <th>①増加</th> <th>達成</th> <th>28年度</th> <th>25年度</th> <th>①約18,000アクセス/月</th> <th>24年度</th> <th>①約16,500アクセス/月</th> </tr> <tr> <td></td> <td>②増加</td> <td>年度</td> <td></td> <td></td> <td>②6種類</td> <td></td> <td>②6種類</td> </tr> </table>	目標値	①増加	達成	28年度	25年度	①約18,000アクセス/月	24年度	①約16,500アクセス/月		②増加	年度			②6種類		②6種類
目標値	①増加	達成	28年度	25年度	①約18,000アクセス/月	24年度	①約16,500アクセス/月										
	②増加	年度			②6種類		②6種類										
実績の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った																

評価3(CHECK) 男女共同参画審議会による指摘	
指摘内容	「男女共同参画情報誌の発行・ホームページの充実」について、ホームページの充実にとどまらず、ソーシャルメディアの試行や将来的な運用も検討されたい。
男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について	
対応等	新たな情報発信手段の一つとして、より一層センター事業との周知を図るため、市民との情報共有手段としても有効とされるフェイスブックページを設立した。(平成26年4月開始)

今後の方向性(ACTION)	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・『フェミナル』については、紙情報の特性を活かし、特集の組み方などを工夫していく。 ・ソーシャルメディアの運用については引き続き試行していく

【第2次尼崎市男女共同参画計画】 実施状況調査(25年度)

局	市民協働局	課	協働・男女参画課
---	-------	---	----------

事業概要(PLAN)	
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し
方針	2 社会における男女共同参画の推進 重点方針 ○
施策の方向	2 男女共同参画に関する学習活動の充実
NO	2221
事業名	男女共同参画セミナーの実施
事業内容	男女の固定的な役割分担意識を改め、男女共同参画社会づくりに資するセミナーを実施する。

25年度に向けた方向性(PLAN)	講座により参加者が定員に満たないものがあり、広報の方法等を考えていく必要がある。幅広いテーマが考えられる男女共同参画であるが、限られた予算や人員の中でどこに力点を置いていくか、「地域課題に応える」を念頭に今後も展開していく。
-------------------	--

【参考】関連する事務事業評価の事業
事務事業名

【参考】関連する計画
計画名

実施内容(25年度)(DO)	
実施内容(25年度)	<p>○「あまがさき女性フォーラム」を開催。(参加者数:のべ105人) シンポジウム:講演「女性センターの今までとこれから」、講演「トレビエとともに歩む」、鼎談「未来をつくる女性センター」</p> <p>○平成25年度男女共同参画週間事業「女性の視点でエンディングを準備する」を開催。(参加者数:のべ98人)</p> <p>○男女共同参画市民企画講座「大切にしよう!心とからだ~小さいときから始める性教育~」、「自分も相手も大切に『怒り』の伝え方」を開催。 など</p>
過去の実施内容(24年度)	<p>○あまがさき女性フェスティバル記念講演「政治・憲法を身近に~全日本おばちゃん党からの発信」を開催。(講師:谷口 真由美(大阪国際大学准教授) 受講者数:52人)</p> <p>○「あまがさき女性フォーラム」を開催。(参加者数:のべ560人) ワークショップ:①「親子ワークショッププレイバックシアター」②「気になる出生前検診」③「私と母。それぞれの人生を生きる」</p> <p>○平成24年度男女共同参画週間事業「女同士 住むこと、生きること、創ること」近居して迎えるシニアライフを開催。</p> <p>○男女共同参画市民企画講座「人生をゆたかにする絵本~大人のための「男女共同参画」絵本連続講座」、「仕事と私の生き方を考える上映会&トーク」を開催。 など</p>

評価1(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか	
男女共同参画の視点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 ■ 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 ■ 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。(その他の特記事項)

評価2(CHECK) 数値目標						
目標項目						
目標・実績	目標値	達成年度	年度	25年度	24年度	
実績の評価	<input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った					

評価3(CHECK) 男女共同参画審議会による指摘	
指摘内容	
男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について	
対応等	

今後の方向性(ACTION)	
今後の方向性	幅広いテーマが考えられる男女共同参画であるが、「地域課題に応える」を念頭に、今後も展開していく。

【第2次尼崎市男女共同参画計画】 実施状況調査(25年度)

局	市民協働局	課	協働・男女参画課
---	-------	---	----------

事業概要(PLAN)	
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し
方針	2 社会における男女共同参画の推進 重点方針 ○
施策の方向	2 男女共同参画に関する学習活動の充実
NO	2222
事業名	託児ボランティア制度の推進
事業内容	女性センターが実施する事業に子育て中の女性の参加を促進するため、ボランティアによる託児を実施する。

25年度に向けた方向性(PLAN)	引き続き、一時保育とプラスワン保育を行う。 また、一方で、保育を行うボランティア支援するため、保健師、看護師、保育士、幼稚園教諭等の免許を持つ人や、保育活動経験者を対象に、男女共同参画の視点を持った保育のスキルアップ講座を開催し、託児ボランティア制度の充実を図る。
-------------------	---

【参考】関連する事務事業評価の事業	
事務事業名	

【参考】関連する計画	
計画名	

実施内容(25年度)(DO)																					
実施内容(25年度)	<p>(1)一時保育利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>午前</th> <th>午後</th> <th>夜間</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1~2歳(人)</td> <td>152</td> <td>223</td> <td>0</td> <td>375</td> </tr> <tr> <td>3~6歳(人)</td> <td>87</td> <td>87</td> <td>18</td> <td>192</td> </tr> <tr> <td>合計(人)</td> <td>239</td> <td>310</td> <td>18</td> <td>567</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)プラスワン保育 一時保育を利用しながら資格取得講座を受講した人に向け、講座終了後から資格試験までの期間に自主学習時間を確保することを目的として、一時保育を実施した。(1人1回2時間500円の有料)。2013(平成25)年度は、4人の利用があった。</p> <p>※連絡シートを毎回作成し、保護者との連携を密にしている ※年に1回、託児ボランティアを集めて内部研修を行い、男女共同参画の理念や、トレピエが目指すことについて講義を行なっている。ボランティア登録更新のための必須研修としている。</p>		午前	午後	夜間	合計	1~2歳(人)	152	223	0	375	3~6歳(人)	87	87	18	192	合計(人)	239	310	18	567
		午前	午後	夜間	合計																
1~2歳(人)	152	223	0	375																	
3~6歳(人)	87	87	18	192																	
合計(人)	239	310	18	567																	
過去の実施内容(24年度)	<p>(1)一時保育利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>午前</th> <th>午後</th> <th>夜間</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1~2歳(人)</td> <td>409</td> <td>68</td> <td>8</td> <td>485</td> </tr> <tr> <td>3~6歳(人)</td> <td>150</td> <td>64</td> <td>5</td> <td>219</td> </tr> <tr> <td>合計(人)</td> <td>559</td> <td>132</td> <td>13</td> <td>704</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)プラスワン保育 一時保育を利用しながら資格取得講座を受講した人に向け、講座終了後から資格試験までの期間に自主学習時間を確保することを目的として、一時保育を実施した。(1人1回2時間500円の有料)。2012(平成24)年度は、7人の利用があった。</p> <p>※連絡シートを毎回作成し、保護者との連携を密にしている ※年に1回、託児ボランティアを集めて内部研修を行い、男女共同参画の理念や、トレピエが目指すことについて講義を行なっている。ボランティア登録更新のための必須研修としている。</p>		午前	午後	夜間	合計	1~2歳(人)	409	68	8	485	3~6歳(人)	150	64	5	219	合計(人)	559	132	13	704
	午前	午後	夜間	合計																	
1~2歳(人)	409	68	8	485																	
3~6歳(人)	150	64	5	219																	
合計(人)	559	132	13	704																	

評価1(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか	
男女共同参画の視点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 ■ 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 ■ 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。(その他の特記事項)

評価2(CHECK) 数値目標						
目標項目						
目標・実績	目標値	達成年度	年度	25年度	24年度	
実績の評価	<input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った					

評価3(CHECK) 男女共同参画審議会による指摘	
指摘内容	
対応等	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について

今後の方向性(ACTION)	
今後の方向性	保育ボランティアに対しての保育スキルアップ研修を実施し(必修)、男女共同参画の視点をもった一時保育が行えるようにつとめる。

【第2次尼崎市男女共同参画計画】 実施状況調査(25年度)

事業概要(PLAN)	
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し
方針	2 社会における男女共同参画の推進 重点方針 ○
施策の方向	2 男女共同参画に関する学習活動の充実
NO	2223
事業名	講座時の一時保育の実施
事業内容	必要のある講座についてボランティアによる保育の実施に努める。

25年度に向けた方向性(PLAN)	公民館では、子育て中の方が、一人で悩まず子育ての不安を解消できるよう、自分磨きやリフレッシュすることを目的とした気軽に参加できる講座を実施するとともに、地域が子育てに参加できる講座の実施を心がけていく。
-------------------	---

【参考】関連する事務事業評価の事業
事務事業名

【参考】関連する計画
計画名

実施内容(25年度)(DO)	
実施内容(25年度)	<ul style="list-style-type: none"> ママのイキイキ応援プログラム 【実施日及び参加者数】11/22(母41人・子20人) 12/13(母32人・子15人) 1/24(母36人・子13人) 人をつなぐ地域を結ぶ、エンパワメントのためのワークショップ 【実施日及び参加者数】10/8(大人30人・子3人) 10/10(大人29人・子2人) ひなまつりを彩る料理教室 【実施日及び参加者数】3/2(大人35人・子5人) フェルトで作る音の出るおもちゃ 【実施日及び参加者数】3/16(大人8人・子1人) 指で描く癒しのアート～パステル和(NAGOMI)アート～ 【実施日及び参加者数】2/15(大人36人・子2人)
過去の実施内容(24年度)	<ul style="list-style-type: none"> 美味しく楽しい食育～手作り料理講座～ 【実施日及び参加者数】1/26(母12人・子5人) 1/29(母17人・子6人) 2/9(母16人・子6人) 2/16(母22人・子6人) ママのイキイキ応援プログラム 【実施日及び参加者数】11/9(母35人・子15人) 12/7(母38人・子10人) 1/11(母38人・子10人)

評価1(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか	
男女共同参画の視点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 ■ 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 ■ 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)

評価2(CHECK) 数値目標						
目標項目						
目標・実績	目標値	達成年度	年度	25年度	24年度	
実績の評価	<input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った					

評価3(CHECK) 男女共同参画審議会による指摘	
指摘内容	
男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について	
対応等	

今後の方向性(ACTION)	
今後の方向性	講座を受講された方々やボランティアとして参加していただいた方々が、「保育」の分野に限らず地域に根付いた活動を継続していただけるように、公民館講座をはじめとした事業(講座)に関する情報提供に努める。

【第2次尼崎市男女共同参画計画】 実施状況調査(25年度)

局	市民協働局	課	協働・男女参画課
---	-------	---	----------

事業概要(PLAN)	
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し
方針	2 社会における男女共同参画の推進 重点方針 ○
施策の方向	3 男性の意識変革と生活自立
NO	2231
事業名	男性セミナーの実施
事業内容	固定的役割分担にとられない男性の生き方を考え、男女共同参画意識を普及するための講座を開催する。

25年度に向けた方向性(PLAN)	今後も「地域課題にこえる」を念頭に、男性のもつ課題、ニーズは何なのかを検討しながら進めていく。
-------------------	---

【参考】関連する事務事業評価の事業
事務事業名

【参考】関連する計画
計画名

実施内容(25年度)(DO)	
実施内容(25年度)	<p>○「いじ入門講座～地域のおじいちゃんカアップ！」開催 (講師:和田憲明 受講者数:11人)</p> <p>○「パパの家事『きほんのき!』～家族がよるこぶカジダン入門～」開催 (講師:堀田寛晶、和田憲明 参加者数:18人)</p>
過去の実施内容(24年度)	<p>○「お父さん応援講座 パパと子どもの親子クッキング パパッとパパクッキング!」開催 (内容:父親の家事や子育てへの参画をすすめるための講座。父と子が料理を通して共有体験をする。日時:8月18日 講師:ピーボ 國本(調理師免許をもつ現役イクメンディレクター) 受講者数:12組27人)</p> <p>○「パワハラ・長時間労働から身を守る!仕事につぶされない働き方」開催 (内容:男性のための男女共同参画セミナー。男性の長時間労働、ワークライフバランスの見直し、男性の生き方を考える。参加者同士の意見交換を行い、問題の共有、解決を図る。日時:3月16日 講師:伊田 広行(立命館大学非常勤講師) 受講者数:11人)</p>

評価1(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか	
男女共同参画の視点	<p>■ 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 固定的な性別役割分担にとられずに実施したか。</p> <p>□ 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。</p> <p>■ 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)</p> <p>固定的役割分担にとられない男性の行き方を考え、男女共同参画意識を普及するための講座を開催しているため、対象を男性としている。</p>

評価2(CHECK) 数値目標																			
目標項目	男性自身の意識変革のための男性セミナー実施数																		
目標・実績	<table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <th>年1講座以上</th> <th>達成年度</th> <th>28年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2講座</td> <td></td> <td></td> <td>2講座</td> <td></td> </tr> </table>	目標値	年1講座以上	達成年度	28年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度					2講座			2講座	
目標値	年1講座以上	達成年度	28年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度											
				2講座			2講座												
実績の評価	<p>■ 達成している</p> <p>□ 下回った</p>																		

評価3(CHECK) 男女共同参画審議会による指摘	
指摘内容	
対応等	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について

今後の方向性(ACTION)	
今後の方向性	男性の家事育児参加、過重労働、非正規雇用の増加、コミュニケーションのつまずきや職場環境の不調などのメンタルヘルス上の課題をテーマに、講座を開催する

【第2次尼崎市男女共同参画計画】 実施状況調査(25年度)

局	市民協働局	課	協働・男女参画課
---	-------	---	----------

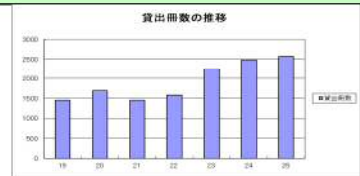
事業概要(PLAN)	
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し
方針	2 社会における男女共同参画の推進 重点方針 ○
施策の方向	4 男女共同参画に関する情報資料の収集・提供
NO	2241
事業名	男女共同参画に関する図書・資料の収集・提供
事業内容	市民の男女共同参画への理解を深めるため、女性センターの情報資料室において図書等の閲覧・貸出を行う。

25年度に向けた方向性(PLAN)	<p>(24年度の取組みの考察)</p> <p>男女共同参画専門情報資料室として、資料の収集、市民・利用者などへの情報提供を行ってきた。また相談室や主催講座と連携した資料貸出やブックリスト作成・配布など、利用者の利便向上に取り組んだ。女性の就労支援関係事業を多く実施しているため、24年度は、仕事や経済に関する資料、就労に役立つ図書等を重点的に整備した。</p> <p>市内の図書関連施設に当センターホームページとのリンクを要請したり、カフェ・テレビ内に新たにブックリストコーナーを設置し広報の充実に努めた。蔵書数の増加が限定的な中で貸出冊数が増加しているのは、情報資料室内の展示や講座受講者への情報提供によるものと考えられる。(今後の方向性)</p> <p>引き続き、男女共同参画に関する図書・視聴覚資料・行政資料などを収集し、閲覧、貸出しを行うとともに、各種情報相談に応じる。</p>
-------------------	--

【参考】関連する事務事業評価の事業
事務事業名

【参考】関連する計画
計画名

実施内容(25年度)(DO)	
実施内容(25年度)	<p>男女共同参画に関する図書・視聴覚資料・行政資料などを収集し、閲覧、貸出しを行うとともに、各種情報相談に応じた。</p> <p>・蔵書数:7,896冊(平成25年度増加冊数 318冊)</p> <p>・利用状況</p> <p>図書資料の貸出冊数 2,546冊</p> <p>入室者数4,756人(新規登録者数 149人)</p> <p>○ブックフェアの開催 4回</p> <p>○センター主催事業講座受講者に向けた情報資料室内を発行している。25部発行</p> <p>○学習情報の提供、図書資料紹介、男女共同参画に関する問合せについて情報相談(レファレンス)を行っている。また情報資料室内には仕事・再就職・資格取得等の情報を集めた「あまがさき女性チャレンジひろば」を設置し、情報提供を行っている。</p> <p>○「子どもを預けて読書でリラックスタイム」を毎月一回実施</p>
過去の実施内容(24年度)	<p>男女共同参画に関する図書・視聴覚資料・行政資料などを収集し、閲覧、貸出しを行うとともに、各種情報相談に応じた。</p> <p>・蔵書数:7,578冊(平成24年度増加冊数 462冊)</p> <p>・利用状況</p> <p>図書資料の貸出冊数 2,468冊</p> <p>入室者数4,080人(新規登録者数 156人)</p> <p>○ブックフェアの開催 2回</p> <p>○センター主催事業講座受講者に向けた情報資料室内を発行している。29部発行</p> <p>○学習情報の提供、図書資料紹介、男女共同参画に関する問合せについて情報相談を行っている。また情報資料室内には仕事・再就職・資格取得等の情報を集めた「あまがさき女性チャレンジひろば」を設置し、情報提供を行っている。</p>



評価1(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか	
男女共同参画の視点	<p>■ 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。</p> <p>■ 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。</p> <p>■ 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。</p> <p>■ 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。</p> <p>(その他の特記事項)</p>

評価2(CHECK) 数値目標													
目標項目	女性センター情報資料室の貸出冊数及び入室者数												
目標・実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th>いずれも増加</th> <th>達成年度</th> <th>28年度</th> <th>25年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,546冊 / 4,756人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2,546冊 / 4,756人</td> <td>2,468冊 / 4,080人</td> </tr> </tbody> </table>	目標値	いずれも増加	達成年度	28年度	25年度	24年度	2,546冊 / 4,756人				2,546冊 / 4,756人	2,468冊 / 4,080人
目標値	いずれも増加	達成年度	28年度	25年度	24年度								
2,546冊 / 4,756人				2,546冊 / 4,756人	2,468冊 / 4,080人								
実績の評価	<p>■ 達成している</p> <p>□ 下回った</p>												

評価3(CHECK) 男女共同参画審議会による指摘	
指摘内容	
対応等	男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について

今後の方向性(ACTION)	
今後の方向性	市立の女性センターとして、尼崎市の女性たちの活動の記録を今後も収集・保存していく。情報資料室がより多くの人に利用されるように、機能の強化や整備、他機関との連携を行っていく。25年度に始めた「子どもを預けて読書でリラックスタイム」は好評なので、今後も実施していく。

【第2次尼崎市男女共同参画計画】 実施状況調査(25年度)

事業概要(PLAN)	
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し
方針	2 社会における男女共同参画の推進 重点方針 <input type="radio"/>
施策の方向	4 男女共同参画に関する情報資料の収集・提供
NO	2242
事業名	図書館での情報提供
事業内容	図書館及び公民館図書室等の配本所において、男女の人権の尊重など男女共同参画に関する図書を提供する。

25年度に向けた方向性(PLAN)	今後も新しい資料を揃えるなど男女共同参画白書等の図書の提供を行う。また、貸出増と啓発を含めた、見やすく借りやすい環境に勤める。
-------------------	---

【参考】関連する事務事業評価の事業	
事務事業名	図書等購入事業

【参考】関連する計画	
計画名	

実施内容(25年度)(DO)	
実施内容(25年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画白書等の図書の提供(男女共同参画に関する資料点数 154冊) ・協働・男女参画課等から配布されるパンフ、チラシ等を設置し図書館利用者に啓発を行った。 ・昨年に引き続き図書館入口エントランスにおいて、10月8日～11月6日まで、乳がん月間、また、DV防止月間(11月)など、関連資料を展示し、啓発と貸出促進を図った。 ・一般配架に女性の本棚(女性の問題)と題し、常時閲覧、貸出が出来る状態にしている。
過去の実施内容(24年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画白書等の図書の提供(男女共同参画に関する資料点数 143冊) ・図書館入口エントランスにDV防止月間(11月)などに、関連資料の別置展示し、啓発と貸出促進を図った。 ・協働・男女参画課等から配布されるパンフ、チラシ等を設置し図書館利用者に啓発を行った。

評価1(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか	
男女共同参画の視点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 ■ 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 ■ 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)

評価2(CHECK) 数値目標						
目標項目						
目標・実績	目標値		達成年度	年度	25年度	24年度
実績の評価	<input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った					

評価3(CHECK) 男女共同参画審議会による指摘	
指摘内容	「図書館での情報提供」について、一般図書館においても男女共同参画の関連図書の情報提供と広報を実施されたい。
男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について	
対応等	「男女共同参画について知りたい。」「DVに関する本はどこにあるか。」などのご相談(レファレンス)があれば回答した。(件数不明)

今後の方向性(ACTION)	
今後の方向性	今後も男女共同参画に関する新しい資料の収集やレファレンスに努める。また、男女共同参画の関連月間などに資料(図書)別置展示を積極的に行うことで図書利用促進と啓発を図ります。

【第2次尼崎市男女共同参画計画】 実施状況調査(25年度)

局	市民協働局	課	協働・男女参画課
---	-------	---	----------

事業概要(PLAN)	
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し
方針	2 社会における男女共同参画の推進 重点方針 ○
施策の方向	5 女性団体・グループの支援とネットワークの推進
NO	2251 (3232) 【拡充】
事業名	男女共同参画を推進する団体・グループの支援と連携の推進
事業内容	男女共同参画の推進と女性の自立、社会参加等を支援するため、多くの市民が参加できるフォーラムを開催し、団体・自主グループの育成と相互の連携を図る。また、登録団体制度を推進する。

25年度に向けた方向性(PLAN)	25年度は、勤労婦人センター40周年、テレビエ20周年事業企画の実行委員会をたちあげ、周年記念事業における協働を図っていく。
-------------------	--

【参考】関連する事務事業評価の事業	
事務事業名	

【参考】関連する計画	
計画名	

実施内容(25年度)(DO)	
実施内容(25年度)	<p>【団体・グループへの支援】</p> <p>(1) 自主グループ(テレビエで実施した講座の受講者などが引き続き活動している団体。5団体) 支援内容: 保育は1年間、1回500円で実施 / 部屋の予約を一般より1ヶ月前から受付 / 部屋使用料5割減免 ○市内外の団体と協働し、講座、セミナー、映画会などを開催した。</p> <p>(2) 活動登録団体(テレビエを拠点として「男女共同参画社会の実現」をめざして活動している団体。10団体) 支援内容: 部屋代年2回無料使用 / HPでの活動紹介 / 部屋の予約を一般より1ヶ月前から受付 / 部屋使用料5割減免</p> <p>【連携の推進】</p> <p>○あまがさき女性フェスティバル ※尼崎市女性団体協議会が中心となり、35団体が実行委員会を構成。</p> <p>○あまがさき女性フォーラム ※活動登録団体他のグループの参画のもと企画運営委員会を構成。</p> <p>○市民企画講座、ギャラリー公募展示の実施 連携を密にしながら企画と当日の運営に参画。</p>
過去の実施内容(24年度)	<p>○あまがさき女性フォーラム</p> <p>○女性フェスティバル(32団体が実行委員会を構成)</p> <p>○自主グループ(9団体)</p> <p>○活動登録団体(8団体)</p>

評価1(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか	
男女共同参画の視点	<p>■ 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。</p> <p>■ 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。</p> <p>■ 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。</p> <p>(その他の特記事項)</p>

評価2(CHECK) 数値目標									
目標項目	女性センターに登録している男女共同参画を推進する団体数								
目標・実績	<table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <th>増加</th> <th>達成年度</th> <th>28年度</th> <th>25年度</th> <th>10団体</th> <th>24年度</th> <th>9団体</th> </tr> </table>	目標値	増加	達成年度	28年度	25年度	10団体	24年度	9団体
目標値	増加	達成年度	28年度	25年度	10団体	24年度	9団体		
実績の評価	<p>■ 達成している</p> <p>□ 下回った</p> <p>活動登録団体</p>								

評価3(CHECK) 男女共同参画審議会による指摘	
指摘内容	
男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について	
対応等	

今後の方向性(ACTION)	
今後の方向性	男女共同参画を推進するためには、地域で活動する団体・グループとの連携、協働が重要であるとの視点から、団体、グループとの連携を強めていく。自主グループ、活動登録団体などを通じた活動支援も進める。

【第2次尼崎市男女共同参画計画】 実施状況調査(25年度)

局	市民協働局	課	協働・男女参画課
---	-------	---	----------

事業概要(PLAN)	
基本目標	2 社会の制度・慣行等の見直し
方針	2 社会における男女共同参画の推進 重点方針 ○
施策の方向	6 男女共同参画に関する人権侵害への対応
NO	2261
事業名	申出処理制度の運営
事業内容	男女共同参画社会づくりに関する施策や人権侵害行為などの申出について、申出処理委員の調査の結果を踏まえて、市が適切に対応する申出処理制度を運営する。

25年度に向けた方向性(PLAN)	近接他都市でも申出件数が少ない状態であり、本市でも件数が増加するとは考えにくい、男女共同参画関係施策を推進していく上でのチェック機能を有する機関として、市民にとって申出の機会が確保されていることに意義があると考えます。
-------------------	---

【参考】関連する事務事業評価の事業
事務事業名

【参考】関連する計画
計画名

実施内容(25年度)(DO)																									
実施内容(25年度)	<p>申出なし</p> <p>○【参考】近隣自治体の男女共同参画(苦情)申出件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>兵庫県</th> <th>神戸市</th> <th>大阪府</th> <th>大阪市</th> <th>尼崎市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年度</td> <td>1(0)</td> <td>1(1)</td> <td>1(1)</td> <td>0(0)</td> <td>0(0)</td> </tr> <tr> <td>23年度</td> <td>0(0)</td> <td>0(0)</td> <td>0(0)</td> <td>0(0)</td> <td>0(0)</td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td>0(0)</td> <td>2(2)</td> <td>0(0)</td> <td>0(0)</td> <td>0(0)</td> </tr> </tbody> </table> <p>()内は、調査対象件数</p>		兵庫県	神戸市	大阪府	大阪市	尼崎市	22年度	1(0)	1(1)	1(1)	0(0)	0(0)	23年度	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	24年度	0(0)	2(2)	0(0)	0(0)	0(0)
	兵庫県	神戸市	大阪府	大阪市	尼崎市																				
22年度	1(0)	1(1)	1(1)	0(0)	0(0)																				
23年度	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)																				
24年度	0(0)	2(2)	0(0)	0(0)	0(0)																				
過去の実施内容(24年度)	<p>申出なし</p> <p>○申出処理パンフレットを作成 発行部数:約500部 配布先:本庁(市民相談)、JR尼崎サービスセンター、阪急塚口サービスセンター、情報政策課、中央地域振興センター、小田地域振興センター、大庄地域振興センター、立花地域振興センター、武庫地域振興センター、園田地域振興センター、女性センター</p> <p>○【参考】近隣自治体の男女共同参画(苦情)申出件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>兵庫県</th> <th>神戸市</th> <th>大阪府</th> <th>大阪市</th> <th>尼崎市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21年度</td> <td>0(0)</td> <td>0(0)</td> <td>1(0)</td> <td>0(0)</td> <td>0(0)</td> </tr> <tr> <td>22年度</td> <td>1(0)</td> <td>1(1)</td> <td>1(1)</td> <td>0(0)</td> <td>0(0)</td> </tr> <tr> <td>23年度</td> <td>0(0)</td> <td>0(0)</td> <td>0(0)</td> <td>0(0)</td> <td>0(0)</td> </tr> </tbody> </table> <p>()内は、調査対象件数</p>		兵庫県	神戸市	大阪府	大阪市	尼崎市	21年度	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	22年度	1(0)	1(1)	1(1)	0(0)	0(0)	23年度	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	兵庫県	神戸市	大阪府	大阪市	尼崎市																				
21年度	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)																				
22年度	1(0)	1(1)	1(1)	0(0)	0(0)																				
23年度	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)																				

評価1(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか	
男女共同参画の視点	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 固定的な性別役割分担にとられずに実施したか。 ■ 対象者として男女双方を想定したか。また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 ■ 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 <p>(その他の特記事項)</p>

評価2(CHECK) 数値目標											
目標項目											
目標・実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th>達成年度</th> <th>年度</th> <th>25年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	目標値	達成年度	年度	25年度	24年度					
目標値	達成年度	年度	25年度	24年度							
実績の評価	<input type="checkbox"/> 達成している <input type="checkbox"/> 下回った										

評価3(CHECK) 男女共同参画審議会による指摘	
指摘内容	
男女共同参画審議会による指摘に対する対応等について	
対応等	

今後の方向性(ACTION)	
今後の方向性	近隣都市でも申出件数が少ない状態であり、本市でも件数が増加するとは考えにくい、男女共同参画関係施策を推進していくうえでのチェック機能を有する機関として、市民にとって申出の機会が確保されていることに意義があると考えます。